

## 神戸大学ブリュッセルオフィス

### オープニング記念シンポジウムの開催について

▽ 国立大学法人神戸大学（2011年2月24日）

神戸大学は2011年3月3日より7日まで、「神戸大学ブリュッセルオフィス・オープニング記念シンポジウム―日欧教育研究連携の新時代」を開催いたします。

神戸大学は2010年9月、ヨーロッパの首都であるブリュッセルに、ヨーロッパの大学・諸機関との国際連携による教育研究の促進を目的として、日本の大学として初めて、オフィスを開所いたしました。本シンポジウムはその開所を記念し、日欧両政府の後援、ならびに諸機関・ベルギーの協定大学の協力を得て、現地で開催いたします。

「日欧教育研究連携の新時代」とのタイトルが示すように、国際化の流れの中で、日本そしてヨーロッパの教育研究のあり方が大きく変わりつつあります。ヨーロッパでは統合が進む中で、エラスムス計画や国際共同研究施設などの国際的な枠組による教育研究が行われるようになりました。日本においても、国際的な教育研究連携をバイラテラルからマルチラテラルへの形へ変化させようという動きが始まっています。本シンポジウムは、このような日欧の新しい動きを踏まえ、これからの日欧の高等教育機関の国際連携のあり方を示すものとして開催いたします。

神戸大学は、日本の近代化の過程において世界の窓口となってきた港湾都市神戸に位置し、国際的な教育研究拠点として国際貢献をその理念として掲げています。ヨーロッパとの関係においては、欧州委員会の支援を受ける EU インスティテュートジャパン関西の主幹校として、日本における EU 研究の拠点ならびに日欧の教育研究の連携の拠点として活動してまいりました。

このようなことから昨年4月には、ヴァンロンプイ欧州理事会常任議長が日欧首脳協議で来日された際に本学で講義をしていただき、本シンポジウムでも3月4日午前のメインシンポジウムにおいて基調スピーチをしていただくこととなっております。

「日欧の高等教育における国際連携」と題したメインシンポジウムでは、日本政府より清水文部科学事務次官、小田野欧州連合日本政府代表部特命全権大使、欧州委員会よりモネ教育・文化総局次長、ボシュロー研究・イノベーション総局国際協力局国際政策課長に日欧の学術政策について、ベルギーのヘント大学長ヴァンコウエンベルク教授、神戸大学長福田より日欧の大学の取り組みについて、講演がある予定です。さらに4日午後には、日欧の大学の国際化の取り組みを話しあう「日欧大学ラウンドテーブル」の他、神戸大学を軸とする日欧の研究成果に基づく人文、社会、自然科学の各分野に関するシンポジウムを予定しております。

神戸大学としては、このシンポジウムを起点として、日欧の教育研究における国際連携を深化させるとともに、アジア、アメリカとの国際連携とリンクさせ、国際的な教育研究の拠点として世界に貢献することをめざします。

以上